

## 2013年NAVIカデキャンプ実施計画

2004年から開催された「NAVIカデキャンプ」も全国で、定着し一定の効果をおさめた。しかし、事業開始から10年が経過し、フェンシングを取り巻く状況も大きく変化しており事業の見直しが必要になってきている。

今年度、その第一歩として各ブロックでの講習内容の統一を図り、一貫した指導内容で日本国内のレベルアップを図って行く。

### 1. 目的

- ①カデ年代の全国の優れた能力を有する競技者の発掘・育成する
- ②日本フェンシング協会の強化方針や指導方針等についての周知徹底を図る。

### 2. 予定

#### (1) ブロックキャンプ

##### ①日 程

| ブロック   | 担当者            | 担当委員  | 期間         | 会場              | 講師     | 派遣委員          |
|--------|----------------|-------|------------|-----------------|--------|---------------|
| 九州     | 笹田 健一<br>(長崎県) | 佐藤 秀明 | 11/30,12/1 | 諫早商業高校          | 池端 花奈恵 | 佐藤 秀明         |
| 中国     | 高橋 一則<br>(広島県) | 平野 一成 | 11/15~17   | 盈進高校            | 菅原 智恵子 | 平野 一成         |
| 四国     | 池上 孝<br>(高知県)  | 中田 玲子 | 11/8~10    | 高知市総合体育館        | 福田 祐輔  | 未定            |
| 近畿     | 好川 裕士<br>(大阪府) | 岩間 秀子 | 12/14,15   | 関西大学<br>高槻キャンパス | 岡崎 直人  | 岩間 秀子         |
| 北信越    | 遠藤 聡一<br>(新潟県) | 平野 一成 | 12/14,15   | 聖籠町総合体育館        | 橋本 寛   | 添田 康雄         |
| 東海     | 青木 伸行<br>(岐阜県) | 富田 智子 | 2/1,2      | 朝日大学            | 未定     | 未定            |
| 関東     | 赤池 廣<br>(山梨県)  | 吉澤 博通 | 12/21~23   | 甲斐清和高等学校        | 青木 雄介  | 吉澤 博通<br>山崎 豊 |
| 東北・北海道 | 松元 隆<br>(山形県)  | 富田 智子 | 11/16,17   | 米沢市体育館          | 橋本 寛   | 富田 智子         |

- ②内 容
- ・第1日目：共通テーマ（フローズ・ダルム）の指導、その他
  - ・第2日目：講師による技術指導、トレーニングコンペティション  
※講師の経験や個性などを活かした内容の講習等

- ③選抜方法 講師、ブロック担当委員、ブロック責任者が協議して各ブロック2～4名程度を選考し、中央キャンプに推薦する決定する。

#### (2) 中央キャンプ

各ブロックから推薦された競技者を味の素ナショナルトレーニングセンターに集めて2泊3日の日程で実施する。

- ・第1回 平成26年1月下旬から2月上旬
- ・第2回 平成26年2月下旬から3月上旬

【共通テーマの具体的な指導】

|     |   |  |
|-----|---|--|
| テーマ | Phrase d'arme(フラーズダルム)を理解する   |  |
| 目的  | フルーレの技術を学ぶ上で、その土台となるのがPhrase d'arme(フラーズダルム)です。Phrase d'arme(フラーズダルム)とは「攻撃権」を獲得するための剣と剣と攻防(遣り取り)であり、試合をつためにはこれを理解することが不可欠です。そのためには、単に剣の攻防だけでなく準備動作(プレシオン)を有効に活用して「攻撃権」を獲得できるようにすることが大切です。 |  |
| 内容  | 1-① 剣の持ち方の説明  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・親指をヒルトの真上に置く</li> <li>※ヒルトの角を持つと剣の操作が制限される</li> </ul>  |
|     | 1-② 指を有効に使った剣の操作  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・親指をヒルトの真上に置く</li> <li>⇒親指と人差し指を使って剣を操作する(上下・左右・円)</li> <li>⇒5本の指を使って剣を操作する(上下・左右・円・名前など)</li> </ul>          |
|     | 2-① フリーファイティング  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・審判器を使わずノーマルファイティング</li> <li>⇒1分間×3回 約10mの距離で行なう</li> </ul>   |
|     | 2-② フリーファイティング  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・審判器を使わずノーマルファイティング</li> <li>⇒1分間×3回 約4mの距離で行なう</li> </ul>  |
|     | 2-③ フリーファイティング  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・審判器を使わずノーマルファイティング</li> <li>⇒1分間×3回 約4mの距離で剣の接触やコントロールアタックなし</li> </ul>                                      |
|     | 2-④ 試合の説明   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝つためにはどうすればよいかを考えさせる</li> <li>⇒アンリニュした状態で前に出る</li> </ul>   |
|     | 3-① Phrase d'arme(フラーズダルム)の説明   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・腕を伸ばして相手の有効面を脅かしている状態が攻撃権を持っていることになる。</li> <li>※腕を伸ばして前に出ている状態がアタック</li> <li>距離を詰めるための前進はアタックではない</li> </ul> |
|     | 3-② フリーファイティング  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・審判器を使わずノーマルファイティング</li> <li>⇒1分間×3回 約10mの距離で行なう</li> </ul>   |
|     | 3-③ フリーファイティング  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・審判器を使わずノーマルファイティング</li> <li>⇒フラーズダルムを考えた試合運びを考える</li> </ul>  |
|     | 4 まとめ   | Phrase d'arme(フラーズダルム)の確認  |